

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然をさわって、見て、感じよう

<テーマの設定理由>

本園では、「とうきょうすくわくプログラム」の理念である、子どもたちの“すくすく”とした育ちと“わくわく”する好奇心を大切にしている。そこで、身近な自然物（葉・木の実・石など）に触れる活動を通して、子どもたちが五感を使って自然に親しみ、観察や発見、表現の楽しさを感じられるよう本テーマを設定した。

また、自然素材を使った遊びを通して、指先の発達や言葉での表現力、友だちと関わる力を育むこともねらいとした。

2. 活動スケジュール

- ・第1回「みつけよう！いろいろなしぜんのかたち」（導入／自然発見）
- ・第2回「いろづく葉っぱで秋をかじよう！」（貼り絵制作）
- ・第3回「どんぐり・まつぼっくりでクリスマスアート！」（造形遊び）
- ・第4回「さわってみよう！しぜんのかんしよく」（感触遊び・探究）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

道具

- ・自然物（葉、小枝、木の実、どんぐり、石など）・トレイ、マット、布 ・虫眼鏡 ・画用紙、のり、クレヨン
- ・粘土（安全なもの） ・装飾素材（リボン、ビーズ、毛糸など） ・水を入れたボウル、タオル ・新聞紙

環境設定

- ・公園で自由に自然物を見つけ、収集できる環境を用意した。
- ・室内では、拾ってきた自然物を新聞紙の上に広げ、子どもたちが自由に手に取り観察できるようにした。
- ・制作活動では、個々が素材を選びやすいよう分類・配置を工夫した。
- ・水を使う活動では、安全面・衛生面に配慮し、タオルを用意するなど安心して取り組める環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

第1回では、公園へ散歩に出かけ、葉や木の実、石などを拾い集めた。室内に戻ってからは、それらを広げ、虫眼鏡で観察しながら形や色、感触の違いに気づく活動を行った。

第2回では、拾った葉を使い、色ごとに分類した後、画用紙に貼り付けて貼り絵を制作した。クレヨンで描き足すことで表現を広げた。

第3回では、どんぐりやまつぼっくり、粘土を使い、クリスマスをテーマにした制作活動を行った。素材の配置や使い方を自分で考えながら作品作りを楽しんだ。

第4回では、自然物の感触を楽しみながら、水に入れたときの変化（浮く・沈む）を観察した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動中の子供の姿・声

- ・「丸いのあるね」「色がちがうね」「ギザギザしているね」
- ・「やわらかいね」「かたいね」
- ・「この赤の葉っぱと黄色、どっちがきれいかな？」
- ・「やさしいのもうみたい！」
- ・「どんぐりはここかな？それともこっち？」
- ・「パン屋さん、ケーキ屋さんみたい！」
- ・「あれ？こっちは浮かんでる！」「こっちは沈んでるね！」

子ども同士や保育者との関わり

- ・子ども同士で「これ見て！」と見つけたものを見せ合い、発見を共有する姿が見られた。
- ・友だちの作品を見て「こうするといいんだ！」と真似するなど、協働的な学びが広がった。
- ・保育者は「どんな形かな？」「水に入れるとどうなるかな？」などの問いかけを行い、子どもの気づきや考えを引き出した。
- ・子どもの発見や表現を受け止め、言葉にして返すことで、興味や探究心を深めた。

<写真>



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・自然物に触れることで、子どもたちは五感を使いながら主体的に探索し、多くの発見をしていた。
- ・虫眼鏡や水などの道具を使うことで、観察への興味がより深まることが分かった。
- ・子ども同士の関わりの中で、新たな気づきや表現が生まれ、学びが広がっていく様子が見られた。
- ・素材を自由に選び、工夫できる環境を整えることで、創造力や主体性が育まれることを実感した。
- ・今後も、身近な自然を活かした活動を継続し、子どもたちの好奇心や探究心をさらに伸ばしていきたい。